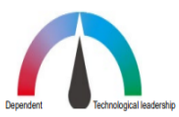
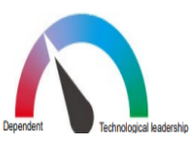
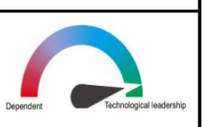
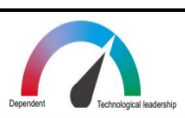
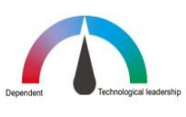
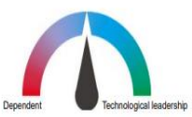
ジェトロ　地域・分析レポート
特集：中国企業のグローバル展開と各国・地域への影響
中国の製造業と海外投資（1）中国製造業の現在地
表：中国EU商会による「中国製造2025」技術目標達成状況評価

No.	分野	概要	状況
1	次世代情報技術	高度な自給能力を確立しているが、EUV露光装置の製造が困難で、先端半導体製造に重大な制約が残る。	
2	ハイエンド工作機械・ロボット	自動化は進展したが、その多くで外国技術への依存が依然として大きい。	
3	航空・宇宙用装備	ドローンや衛星の分野で一定の成功を収めているものの、独自開発したC919は主要部品の多くを外国のサプライヤーに依存している。	
4	海洋工学装備およびハイテク船舶	造船大国としての地位は確立。豪華客船ではEUが優位だが、独自建造大型客船の就航により変化の兆しが見られる。	
5	先進的軌道交通設備	高い自立性を達成し、少数の特殊部品を除きほぼ国産化。最後の段階は不可能でないにしても困難。	
6	省エネルギー・新エネルギー自動車	バッテリーを含む主要部材は国産化。車載半導体は大きな輸入依存が残る。	
7	電力装備	風力・太陽光は高い自給率を達成。一部の原子力技術では依然遅れをとっている。	
8	農業用機器	市場シェアは大きいが、一部の製品カテゴリーで、品質面で依然として欧州同業他社に後れを取っている。	
9	新素材	一般化は困難。ただ多くの会員企業は、類似品の生産は可能だが、品質が劣る場合もあると回答。	
10	バイオ医薬および高性能医療機械	ほとんどの製品で中国国内製の代替品が存在するが、価格と品質両面で劣る傾向。医療製品の安全性は数十年にわたって確立されているため、外国企業製品は当面、レピュテーション上の優位性を維持する可能性が高い。	

注：状況は左側が「Dependent（技術依存）」、右側が「Technological leadership（技術主導）」。
出所：中国EU商会「Made in China 2025: The Cost of Technological Leadership」（2025年4月16日）を基にジェトロ作成

禁無断転載 COPYRIGHT (C) 2026 JETRO. ALL RIGHTS RESERVED.